

資格加点申請の案内

申請方法

対象資格の

- ① 「資格加点を証明する書類（以下「証明資料」という。）」の「原本」
※ 証明資料の「原本」がデジタルの場合は、証明資料を表示した「電子データ」
- ② 「資格加点申請書」に必要な事項を記載したもの
- ③ 証明資料の「写し」（A4用紙にコピーしたもの）
※ 証明資料の「原本」がデジタルの場合は、証明資料の「印刷物」

以上3点を第1次試験当日に持参し、係員の案内に従って①を提示の上、②と③をホチキス留めしたものを提出してください。

注意！

- ・ 第1次試験当日に「**原本**」が提示できない場合は、**加点しません。**
- ・ 第1次試験当日に「**資格加点申請書**」と**証明資料の「写し」又は「印刷物」**が提出できない場合は、**加点しません。**
- ・ 提出した証明資料の「写し」又は「印刷物」は返却しません。

注意事項

- ・ 加点申請できる資格は**一つのみ**です。対象資格を複数所持している受験者は、どれか一つを選んで当日申請してください。
- ・ 国際捜査Ⅰ類、武道・体育指導Ⅰ類、サイバー犯罪捜査Ⅰ類及びサイバー犯罪捜査Ⅱ類の受験者は、資格加点を申請できません。
- ・ 証明資料がA3などの場合は、縮小コピーし、A4に収めてください。
- ・ 証明資料の「写し」又は「印刷物」の余白に、「受験番号」、「受験者氏名」を黒色のボールペンで必ず記入してください。証明資料の写しが2枚以上になる場合は、それぞれに「受験番号」、「受験者氏名」を記入してください。
- ・ 証明資料の「写し」又は「印刷物」は、資格加点申請書にホチキスで留めて提出してください。
- ・ 証明資料は、必ず加点対象基準となる「受験者氏名」、「段位」、「級位」、「点数」等が分かるようにコピーしてください。対象基準が確認できない場合など証明資料に不備がある場合には、**資格加点の対象外とみなす場合があります。**
- ・ 結婚等により、証明資料に記載されている氏名と、資格加点申請書の氏名が異なる場合には、当該証明資料が申請者のものであることを証明することができる書類（戸籍等）を持参してください。
- ・ 資格加点は、申請に基づき審査を行った上で加点を行うため、内容に不備がある場合や、加点対象外の申請を行った場合には、加点されません。なお、資格加点の審査結果についての問合せには回答いたしません。

対象資格の証明資料

武 道

次に掲げる種別の初段以上の資格を有している人

※ 証明資料は特定の交付機関が発行したものに限りします。

種別	証明資料（いずれか1つ）
空手道	<ul style="list-style-type: none">全日本空手道連盟公認の段位免状※ 協力団体、友好団体等が発行した段位証書は不可会員証（全空連において発行したものに限る。）
日本拳法	<ul style="list-style-type: none">日本拳法全国連盟の允許状日本拳法允許証明書
柔道	<ul style="list-style-type: none">講道館の段位証書（賞状）講道館館員証段位証明書（講道館において発行したものに限る。）※ 柔道手帳は不可
剣道	<ul style="list-style-type: none">全日本剣道連盟の段位証書（賞状）剣道手帳（証印が押されているものに限る。）段位証明書（各都道府県の剣道連盟において発行したものに限る。）
合気道	<ul style="list-style-type: none">合気会の段位証書（賞状）国際有段者証

情 報

独立行政法人情報処理推進機構が実施する経済産業省認定の情報処理技術者試験に合格している人及び情報処理安全確保支援士となる資格を有している人

※ 平成21年度以降に実施された、次に掲げる試験に限りします。

試験名称	証明資料（いずれか1つ）
ITパスポート試験	<ul style="list-style-type: none">情報処理技術者試験合格証書情報処理技術者試験合格証明書情報処理安全確保支援士試験合格証書情報処理安全確保支援士試験合格証明書情報処理安全確保支援士登録証
情報セキュリティマネジメント試験	
基本情報技術者試験	
応用情報技術者試験	
ITストラテジスト試験	
システムアーキテクト試験	
プロジェクトマネージャ試験	
ネットワークスペシャリスト試験	
データベーススペシャリスト試験	
エンベデッドシステムスペシャリスト試験	
ITサービスマネージャ試験	
システム監査技術者試験	
情報セキュリティスペシャリスト試験	
情報処理安全確保支援士試験	

財 務

試験名称	対象級	証明資料（どちらか1つ）
日商簿記検定	2級以上	・簿記検定合格証書 ・検定試験合格証明書

語 学

●英語

試験名称	対象級	証明資料（いずれか1つ）
実用英語技能検定	2級以上	・合格証明書（和文・英文どちらでも可） ・検定試験合格証明書
TOEIC（注）	600点以上	・公式認定証（公開テストの場合） ・スコアレポート又はスコア（IPテストの場合）
TOEFL（注）	62点以上	・イグザミニースコアレポート（自分用スコア票） ※インターネット上のスコアを印字したものは不可
国際連合公用語英語検定	C級以上	・試験結果通知書 ・合格カード ・和文合格証明書 ・英文合格証明書 ・認定証（2008年以前は「合格証」も可）

（注）第1次試験日から2年以内に実施された試験を有効とします。

●中国語

試験名称	対象級	証明資料（いずれか1つ）
中国語検定	3級以上	・合否通知 ・認定証書 ・合格証明書
漢語水平考試（HSK）	4級以上	・成績証明書（再発行不可） ・成績報告記載内容証明書 ※インターネット上の成績表示を印字したものは不可
中国語コミュニケーション能力検定	400点以上	・認定証（公開試験） ・結果票（ベーシック試験）

●韓国語

試験名称	対象級	証明資料（いずれか1つ）
ハングル能力検定	準2級以上	・合格証明書（概ね5年前まで発行） ・合格カード ・成績証明書 ・成績通知票
韓国語能力検定	4級以上	・成績証明書（現在は、合格認定証を兼ねる） ・合格認定証（概ね5年前まで発行）

●ベトナム語

試験名称	対象級	証明資料（どちらか1つ）
実用ベトナム語技能検定試験	4級以上	・合格証明書 ・合否結果通知書

スポーツ経歴

証明資料については、①、②のどちらかで申請可能ですが、**原則、①で申請してください。**ただし、①が準備できない場合には、②による申請も可能です。

なお、**②による申請の場合は、原本（賞状等）の持参は必要ありません。**

- ① 全国大会等参加証明書の**原本**（在籍・出身校に証明を依頼してください）
※ 全国大会等参加証明書は、埼玉県警察ホームページから印字をお願いします。
- ② 出場した大会の「大会名」「出場校名」「選手の氏名」が分かる、「賞状」、「大会パンフレット」、「新聞の切抜き」、「インターネット上での大会記録」等をA4用紙にコピーしたもの

注意！

- ・ 加点対象になるスポーツ大会については次のとおりです。申請するスポーツ経歴がいずれの大会に該当するかを確認の上、申請してください。
（※中学校卒業以降の大会が該当します。）
 - **国民体育大会（国体）**
 - **全日本学生選手権大会（インカレ）**
 - **全国高等学校総合体育大会（インターハイ）**
 - **全国高等学校野球選手権大会（甲子園）**
 - **全国高等学校選抜等大会（高校選抜大会のほか、サッカー全国選手権大会等）**
 - **選抜高等学校野球大会（センバツ）**
- ・ ②による申請の場合は、必ず加点対象基準となる「大会正式名称」、「出場校名」「選手の氏名」が明記されたものを証明資料とし、提出してください。
なお、上記のいずれかが判明しない場合には、加点の対象外となります。
- ・ 証明資料がA4用紙に収まらない場合は、縮小コピーし、A4用紙に収めてください。
- ・ 資料ごとに受験番号、受験者氏名を記載してください。
- ・ 選手として出場とは、補欠選手等の選手登録された者は含みますが、監督、コーチ、マネージャー等は除きます。
- ・ 個人種目として出場資格がある競技は、大会名欄の団体・個人の該当する方に、丸印をつけてください（柔道、剣道、陸上競技、テニス等）。